

## ◇ 国際仏教文化協会役員体制 ◇

公益財団法人国際仏教文化協会の役員は、定款によって、運営を担う理事（三、六名）および経理経験者による監事（一名）、そしてその運営を承認する評議員（三、六名）によって構成されます。ここにその一覧を掲載してご報告とさせていただきます。（それぞれについて五十音順、敬称略）

名誉総裁	大谷 光 真 （浄土真宗本願寺派門主）
理事長	佐々木 恵 精 （浄土真宗本願寺派 総合研究所長）
理事	井筒 與兵衛 （株）井筒社長
同	柏原 信 行 （真宗大谷派智源寺住職）
監事	松本 和 也 （石塚会計事務所税理士）
評議員	江里 康 慧 （平安仏所仏師）
同	金 児 慧
同	寺井 良 宣 （浄土真宗本願寺派尊光寺住職）
事務局	寺本 知 正（事務局長） （天台眞盛宗別格本山西米寺山主） 柏原 信 行（事務局次長）

## 編集室より

国際仏教文化協会の柱となる事業は、これまでも、そしてこれから、ヨーロッパやヨーロッパに関連する地域で仏教の思想と文化を振興する団体・個人の活動への助成事業です。ただし、その活動に公益性が認められるかどうかは、第三者委員会の厳しい審査を通じて決定が行われます。記事の中でもふれましたが、当協会ではNCC宗教研究所で開講されている仏教関係の留学生講座も助成しています。当該講座との対話実践学習は、龍谷大学でも正式なカリキュラムに組み入れられ、10年後、20年後に、留学生たちがヨーロッパ・キリスト教世界の指導的立場に立った時に、日本の浄土教の僧侶たちと若いころから友人関係にあることが、どれほど相互理解に、そして世界の人々の心の安寧に資することになるか想像に難くありません。

こうして、若い芽が育つ一方で、ヨーロッパにおける浄土教の初期を支えた最後のお一人が亡くなりました。フェンツル氏です。ヨーロッパでは、パリ語で記された仏教が純粹な仏教として古くから主流であり、また、東方への憧れからチベット仏教も耳目を集めますが、漢文による大乘仏教は様々なものが混合した大衆宗教としてみられてきました。そうした中で、フェンツル氏らの地道な活動により、日本の浄土教、親鸞の思想が僅かずつ知名度を上げていったといえるでしょう。近くに助けられる者もなく、ただ一人で活動されていた、こうした初期の方々に驚嘆の念を禁じえません。

（知止）